

ひとりごと” 今月は 歯科衛生士 山尾です

ひとりごと

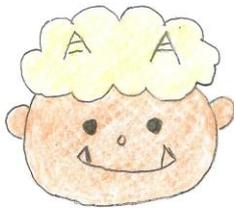


今月は 歯科衛生士 山尾 です

2月

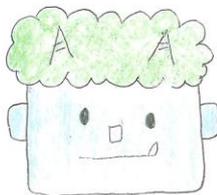
節分

節分とは「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」
〈2月3日の節分の過ごし方〉



豆まきをしよう!!

「みんなが健康で幸せに過ごせますように」と願い
こめて、悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を
呼び込むために豆まきをします。



豆を食べよう!!

豆を自分の歳の数だけ食べると、体が丈夫になって
病気になりにくいと言われています。
場所によっては自分の歳の数より多く食べる
ところも…。



恵方巻を食べよう!!

節分の日、その年の恵方(鬼の方)を向いて
願い事を思いながら一言も話さずに食べると
願い事がかなうと言われています。

今年目標

あけましておめでとうございます。本年も杉岡歯科医院をよろしくお願いいたします

杉岡歯科医院では年始にその年の目標を立てて、スタッフルームに貼って、皆で共有しています。今年目標は以下の通りです

杉岡歯科医院 2023年の目標

* 愚痴・不平・不満を言わずプラス言葉を使おう

マイナス言葉（愚痴・不平不満・悪口・文句・泣き言）は、聞いている周りの人が暗い気分になるだけでなく、言った本人も、自分の放ったマイナス言葉が頭に残って、いつまでも嫌な経験が忘れられなくなってしまう。

プラス言葉（ついている・楽しい・感謝しています・ありがとう・うれしい）を口ぐせにすると、仕事も人生も楽しくなり、何事もいい方向に向かっていきます。

マイナス言葉を口にしても、反省する習慣を身につけましょう。

* インビザラインの普及

従来通り小学生以下は機能面の指導、混合歯列前期の小学生は床矯正を進めていきます。永久歯列になった小学高学年以上の矯正治療としてインビザラインの知識・技術を向上させ、患者様に普及していきます。

* 基本セットトレーのディスポ化

紫外線殺菌庫を廃止し、基本セットをディスポにし、滅菌システムを見直します。

* 院内感染防止対策（コロナ対策）の強化

院内感染防止対策はここまでやれば完璧というゴールはありません。今年も患者様やスタッフの安全のために、院内感染対策を更にレベルアップしていきたいと思えます。

又コロナ禍において始めた、待合室の新聞雑誌の撤去も状況を見ながら見直していきたいと思えます。

お正月に注意すべき食べ物

お正月に注意すべき食べ物は？

何かといえば、

「餅」

なんですね

確かに毎年正月に、餅をのどに詰まらせて多くの方が亡くなっているそうです

餅に関するうんちくをもう一つ

餅は胃酸に溶けにくいそうです

従って、よく噛まないで飲み込むと、胃の中にいつまでも残っていて、

胃を傷つけたり、胃潰瘍の原因になるそうです

よく噛むことはやはり大切ですね！

先生歯がいっぱい

新型コロナ、＜2類＞から＜5類＞に引き下げることが検討され始めましたね。

同時に屋内のマスク着用の緩和も議論されるようです

ある新聞で次のような投稿をみました

ある保育園でマスクを外した保育士の顔を見て

「先生、歯がいっぱい」

と3歳児が驚いた

マスク生活が長引いて相手の顔や表情がわかりにくいという弊害も出ています

早く非日常から日常に戻ってほしいですね

床矯正フォーラムで福岡に行ってきました

1/22(日)床矯正フォーラムを受講するため博多に行ってきました

会場は福岡駅前の福岡朝日ビル、

ここは私にとって思い出のある場所です

床矯正を始めた頃、症例相談のセミナー「床矯正フォローアップコース」を受講するため毎月のように福岡に通っていましたが、その時の会場がここだったんです



その思い出のある場所で、今回もしっかり勉強してきました

最後は皆で記念撮影



セミナー終了後、場所を移動して懇親会。コロナ以来、久々です。

もつ鍋をつつきながら、情報交換ができました！

やはりセミナーのだいご味は懇親会にありますね



マウスピース矯正「インビザライン」オンラインセミナー

1/23(月)20:00 より所属しているグループのマウスピース矯正「インビザライン」の
オンラインセミナーを受講しました・

今回もすごく勉強になりました

インビザラインは、取り外しができ、目立ちにくく、患者様にとって有益な治療法です
が、しっかりと治療計画をたてることが大切です

勉強すればするほど奥が深いです

最後に恒例の記念撮影 😊



大雪警報

10年に一度の寒波。福知山も例外ではないです

お昼は「ほんまに雪降るんか？」と思うほど晴天でしたが、夕方になるとドカ雪

あっという間に積もって、雪かきしないと車が出せないレベルに

大雪警報が出たため、保育園に迎えに行くスタッフ、遠方から通っているスタッフ、電車で通勤のスタッフは早々に帰ってもらい残ったスタッフで頑張りました

みんなありがとうね 😊

さあ明日の雪かきに備えて早めに休みます



患者様の疑問に答えて

Q: 1歳半検診で上唇小帯異常と言われました。早く処置をしたほうがいいのでしょうか？

A: 上唇小帯とは、上唇（うわくちびる）の内側にある筋のようなものです。上唇小帯が長くて、上の前歯のところまで延びている場合に検診で指摘されることが多いです。上唇小帯が邪魔で、上の前歯の隙間ができる状態（正中離開）になることがあります。頻度は低いのであまり心配しなくてもいいと思います。上顎の前歯が生え変わる6～7歳頃までは様子を見てでもいいと思われ。正中離開の原因になっている場合は、上唇小帯を切除します。

